

## IOSCO がサステナビリティと気候変動にかかる問題への取組みを強化

2020 年 4 月 14 日

証券監督者国際機構（IOSCO）代表理事会は、本日、市場参加者がサステナビリティと気候変動に関連する問題に取り組むのを支援するため、サステナブルファイナンスと証券規制当局及び IOSCO の役割に関する報告書を公表した。

IOSCO のサステナブルファイナンスネットワーク（SFN）は、サステナビリティに関連する開示、サステナブルな活動の共通定義の欠如、グリーンウォッシングやその他の投資家保護に関する課題といった、複数かつ多様なサステナビリティの枠組みと基準に関する 3 つのテーマに注目した報告書を作成した。

本報告書は、クロスボーダーに活動している多くの発行体やアセットマネージャーが、異なる規制体系の対象となったり、第三者による複数の地域または国際的な試みに参加したりする可能性があることを示している。

この様々な規制体系や試みは、目的と要件が一貫していないことが多く、サステナブルな事業活動に伴うリスクと機会をステークホルダーが完全に理解することを妨げる可能性がある。

本作業を周知するため、SFN は、サステナブルファイナンスがもたらす機会と課題に対処するために証券規制当局と市場参加者が計画または実施した取組みに関する調査を活用した。また、結論に到達するにあたり、2019 年 6 月に開催されたステークホルダー会議での議論、新興市場におけるサステナブルファイナンスと証券規制当局の役割に関する IOSCO 成長・新興市場委員会報告書（2019）、及び企業の ESG 情報の開示に関する IOSCO 声明（2019）の内容を考慮した。

SFN による作業の結果、IOSCO 代表理事会は、2020 年 2 月、本報告書に記載の問題に対処するためのグローバルな取組みの中で IOSCO が積極的な役割を果たすことを可能とするため、サステナブルファイナンスに関する代表理事会レベルのタスクフォースを設立することに合意した。

IOSCO 代表理事会は、タスクフォースの議長として、スウェーデンの金融監督庁長官である Erik Thedéen 氏を任命した。タスクフォースの目的は 3 つある。

まず、発行体およびアセットマネージャーが作成するサステナビリティに関連する開示を改善すること。第二に、他の国際機関や規制当局との協力を通じて作業の重複を回避し、関連する規制及び監督上のアプローチの協調を高めること。第三に、サステナブルファイナンスにおける透明性、投資家保護、その他の関連する問題の事例研究と分析を行い、その取組みの実務的な意味を示すことである。

The déen 氏は次のように述べている。「グローバルな問題はグローバルな解決法を必要とする。秩序だった移行を促進し、同時に国境を越えた金融活動の条件を保護することは、金融機関と IOSCO のメンバーにとって重要な問題である。私たちの主な目的の 1 つは気候関連の開示の質を改善することである。他の関連するステークホルダーや基準設定主体と協力して、この取組みを前進させるための最良のアプローチについて話し合うのを楽しみにしている。」